

新発田市 令和7年度 第12回定例記者会見

- 1 日時 令和8年3月6日(金)午後3時～
- 2 場所 ヨリネスしばた503・504会議室
- 3 内容

【市長発表項目】

○新発田市シェアオフィス「キネス本田」がオープンします！

○過去最大規模にお得な宿泊割引、ついにスタート(今・得キャンペーン)

○春らんまん歴史ツアー(新発田城三階櫓の特別公開)を開催します

○新発田の春まつり

○藤塚浜財産区で松林再生活動 抵抗性クロマツの植樹を行います

○「しばたの越後姫 いちご一会めぐり」開催中！

【その他】

○本格フィンランド式サウナ施設「月岡邸」オープン

○1DAY コミセン in かわひがし

○蔵春閣呈茶席

○新鮮おさかな市場オープン&さかなまつり2026開催！

○第53回新発田市ジュニア展受賞作品展 in ヨリネスしばた開催

○詩吟 in 蔵春閣

あいさつ

- お集まりいただきありがとうございます。春めき始め、待ち望んだ季節がやってまいりました。昨日は、暦のうえでは啓蟄とのことで、生き物が冬眠から眼を覚ますという日なんだそうです。しかしながら、1月にクマが2頭ほど出たようです。どちらも子熊でしたが、きっと母熊から冬眠の習性を学ばなかったのではないかと思ったところでもあります。
- 春は若者たちが巣立つ季節でもあります。本日、私の母校である新潟調理師専門学校卒業式に行っていました。私は料理の道ではなく、まちづくりの世界に入りましたので、包丁を捨てた人間が同窓会長をやっていることはいささか恥ずかしいのですが、ご縁がありまして、今、同窓会長という立場として立ち会わせていただきました。
- 生徒代表の答辞に感動を覚えました。その彼は富山県の生まれだそうです。富山県にも調理師学校があるようですが、インスタグラムで新潟調理師専門学校を卒業した料理人の料理に触れる機会があり、その料理に感動したことで、この学校で学びたいと思い入学した。といった高い決意と志がある答辞の内容でした。卒業生の皆さんは、二十歳を過ぎたくらいの年代ですが、私とその年代の時よりもはるかに立派だなと改めて思いました。
- 本日は、皆様方に新発田の物産に関するPRをいたします。一つでも取り上げていただきたいと思います。また、本日は若い世代の応援団も来ておりますので、彼らのメッセージにもぜひ耳を傾けていただきたいと思います。

それでは、会見項目を説明いたします。

はじめに、新発田市シェアオフィス「キネス本田」のオープンについてです。

- 令和4年にオープンしたシェアオフィス「キネス天王」に続き、このたび第2のシェアオフィスとして「キネス本田」がオープンします。
- 「キネス本田」は令和3年3月に閉校した旧本田小学校の校舎をリノベーションした施設であり、長岡技術科学大学や入居企業者同志の連携を通じ、新たなサービスやビジネスモデルを生み出す「イノベーションラボ」としての機能を担う施設です。
- これまでの「キネス天王」はオーガニックやスマート農業など新たな技術の研究施設であったのに対し、このたびの「キネス本田」はその研究を実践する場として、新たな価値の創出を図り、その成果を市内外へ波及させることを目指しています。
- オープン当日は、議長、区長の皆様、長岡技科大、入居予定企業をお迎えして、オープニングセレモニーを開催します。
- 高機能きのこの実証栽培や越後姫の完全室内四季なり栽培、自動運転技術を活用した農業の高度化実験、ジビエの解体など、入居を予定する企業の研究計画を御紹介いただきます。
- 「キネス本田」を新たなチャレンジに取り組む事業者と地域をつなぐ拠点として、当市の未来の産業を創造する施設となるよう、産学官で活用を進めてまいります。

次に、今・得 宿泊 キャンペーン2026についてです。

- 過去最大級のキャンペーンが始動します。物価高騰の煽りを受ける宿泊事業への支援として、破格の合計 7,000 円がお得となるチャンスです。新潟県内では新発田市だけ！これを逃したら後悔必至！自信を持ってお届けします。
- 今回のポイントは、旅館等の平日の稼働率をさらに上げるため、利用可能日を日曜日から木曜日に思い切って限定したうえ、キャンペーンの名に恥じない、近年では最高額となる 1 泊 1 人あたり最大 5,000 円を割り引きます。旬を迎える越後姫や新発田牛を使った特別プランを是非ご堪能いただきたいと思えます。
- また、利用者は、チェックイン時にもらうクーポンを市観光協会へ持参すると、新発田市特産品の和菓子の詰め合わせセット 2,000 円分のお土産がもらえる上、キャンペーン利用者限定で販売する市街地回遊共通券を御購入いただくと、さらに、記念ノベルティの特典付きで、ゆっくりとお得に市街地を回遊し新発田を満喫することができます。
- またとないこの機会に、ぜひ多くの方に新発田市や月岡温泉にお越しいただきたく、心よりお待ちしております。
- 本日はキャンペーンを PR するため、月岡温泉を代表して月岡温泉旅館協同組合副理事長の樋口秀人さんにお越しいただいております。このキャンペーンに対する意気込みをお一言お願いいたします。
 - ・ 月岡温泉旅館協同組合樋口副理事長からの PR コメント

次に、春らんまん歴史ツアー ～新発田城・白壁兵舎広報史料館めぐり～の開催についてです。

- 今年も恒例の「新発田の春まつり」を4月3日から新発田城址公園で開催いたします。新発田城のライトアップや、ぼんぼりのあかりが、咲き誇る桜をより艶やかに演出いたします。また、花よりも団子が気になる方には、各種グルメの出店で御満足いただきたいと思います。
- そして、この度は、春まつりの特別企画として、陸上自衛隊新発田駐屯地の御協力により、新発田城と白壁兵舎広報史料館を巡る『春らんまん歴史ツアー』を初めて開催いたします。
- このイベントは、市教育委員会が推進する「しばたの心継承プロジェクト」の一環として、市内在住の小学生以上の方を対象として実施いたします。
- 市民の皆様は、新発田城をはじめとする地域の大切な歴史に直接触れていただくことで、新発田の魅力を改めて感じていただける機会になるものと確信しております。
- さらに、今回の特別企画の目玉として、普段は非公開である新発田城三階櫓を12年ぶりに参加者の方限定で公開いたします。市民の皆様はこの貴重な機会をお届けできることを、私としても大変嬉しく思っております。
- 満開の桜を愛でながら、当時の新発田城へ想いを馳せ、新発田の春を彩る特別な一日を御提供いたします。ぜひ市民の皆さまに御参加いただけますよう、心よりお待ちしております。

次に、紫雲寺地区での松林再生活動についてです。

- 当市紫雲寺地区の海岸沿いにある松林は、約100年前、暴風で海岸の砂が吹き飛ばされ、浜小屋をはじめ畑や道路、住宅までもが砂に埋まるという災害の中、飛砂から生活環境を守ろうと、地域の住民が植樹を行い、培ってきた松林であります。
- その松林が、松くい虫の被害により、この12年の間で約10万本が枯れ、減少している状況にあります。対策として、無人ヘリコプターによる薬剤散布や、被害木の伐倒などを講じてまいりましたが、被害の終息は見えず、このままでは、大事な資源である松林が無くなってしまうおそれがあります。
- そこで同地区では、7年前から松林の復元に取り組んでおり、この度は、今月22日、藤塚浜財産区の所有地に、松くい虫に強い「抵抗性クロマツ」、250本を植樹いたします。
- 植樹には、当市と包括連携協定を結んでいるイオンリテール株式会社の御配慮で、環境や社会貢献活動を行っている小学生のグループ、「イオンチアーズクラブ」に参加いただくことになっております。また、地区の将来を担う紫雲寺小学校の児童にも参加を呼びかけております。
- そしてこの事業は、「公益財団法人ニッセイ緑の財団」や「公益社団法人にいがた緑の百年物語緑化推進委員会」からの助成金を活用して実施するものであり、当日は、日本生命保険相互会社からの苗木の贈呈式を併せて行います。

最後に「しばたの越後姫いちご一会めぐり」キャンペーンについてです。

- 「春の新発田といえば越後姫」。今年も、新発田がいちご色に染まる季節がやってまいりました。当市の春の恒例イベント「しばたの越後姫 いちご一会めぐり」を2月28日から開催しております。好評にお答えし、開催期間を1週間延長し、スタンプラリーの当選者も増やしてパワーアップいたしました。
- そして、今年には越後姫が品種登録されて30年。越後姫の生みの親と育ての親は、新発田の人と言われており、新発田は県内トップクラスの産地です。このような大変誇らしい「新発田の越後姫」で、新発田の春を盛り上げます。
- 今年は、昨年を上回る40の店舗が新発田産越後姫を使った華やかなメニューを展開します。さらに、昨年新たな試みとして大きな反響のあった高校生考案コラボメニューも販売します。
- 本日は両校の皆さんにもお越しいただいておりますので、皆様に向け商品のPRしていただきたいと思います。それでは新発田農業高校からお願いします。
 - ・新発田農業高校の生徒によるPRコメント
- ありがとうございます。続きまして、新発田商業高校の皆さん、お願いいたします。
 - ・新発田商業高校の生徒によるPRコメント
- ありがとうございます。このほか、昨年に引き続き、「インスタグラム投稿キャンペーン」も開催し、当選者数もアップ

しております。「いちご一会めぐり」に参加する様子を投稿していただくことが、さらにイベントの周知と新発田産越後姫のPRにつながります。

- 参加者数も年々増加しておりますので、報道各社の皆様もニュースを記事にさせていただきながらキャンペーンにも御参加ください。
- 本日は、高校生が考案したメニューを含む、「いちご一会めぐり」のメニューの一部を御用意いたしました。質疑が終わりましたら、皆様も撮影と御試食をお願いいたします。
- 高校生考案コラボメニューは、私も試食を、と言われておりますので、その様子を是非ニュースや記事に取り上げていただければありがたいと思います。
- 本日お知らせする情報は以上ですが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しておりますので、一つでも多く記事にさせていただきますようお願いいたします。
- そして、令和7年度の定例会見は今回が最後であります。1年間、新発田市を御支援いただきありがとうございました。令和8年度も引き続き、当市をお引き立てくださいますよう、よろしくをお願いいたします。